

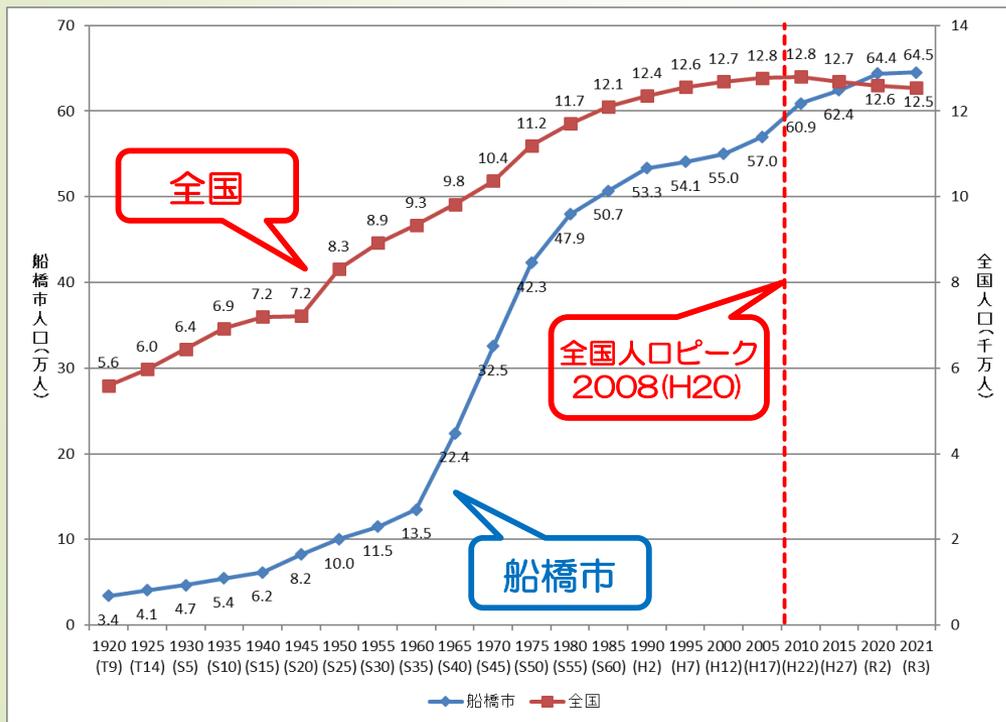
## 第2期船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けた 人口動態に係る分析及び目指すべき将来の方向

- 1 これまでの人口動態
- 2 将来人口推計
- 3 市民の定住意向
- 4 人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向

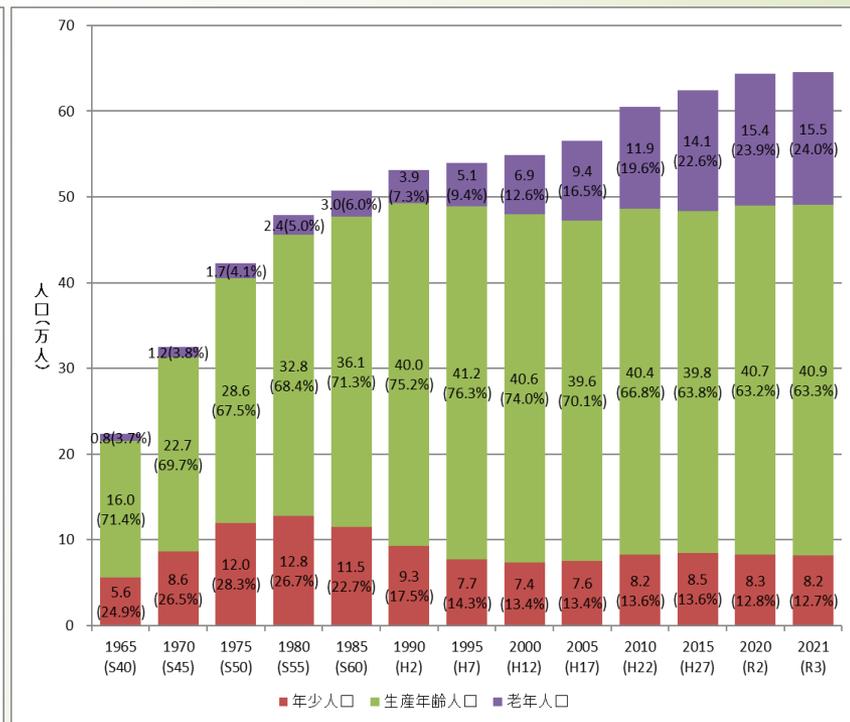
# 1 これまでの人口動態(総人口・年齢3区分別)

- 全国の人口は平成20(2008)年をピークに減少局面に入り、人口減少している市区町村は8割程度となっている。そのような中、本市は現在も緩やかな人口増加が続いており、人口ビジョンを策定した平成27年度から令和3年度にかけて、約2万人増加している。(図表2)
- 本市の人口を年齢3区分別に見ると、人口ビジョン策定以後、少子高齢化により年少人口の減少及び老年人口の増加が進んでいるが、生産年齢人口は緩やかに増加している。(図表3)

図表2 総人口の推移(全国及び船橋市)



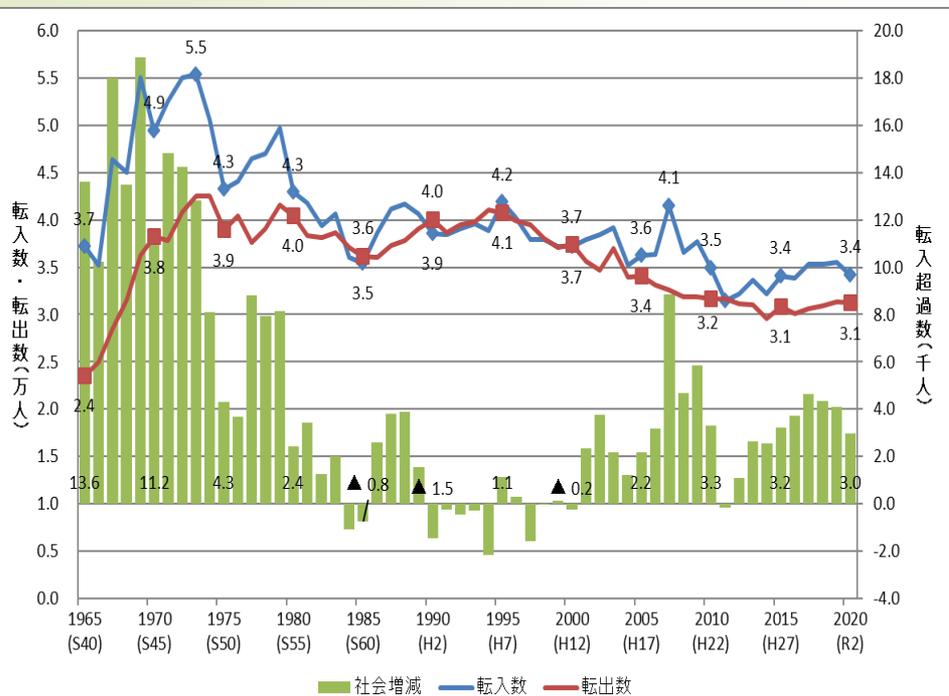
図表3 年齢3区分別人口の推移(船橋市)



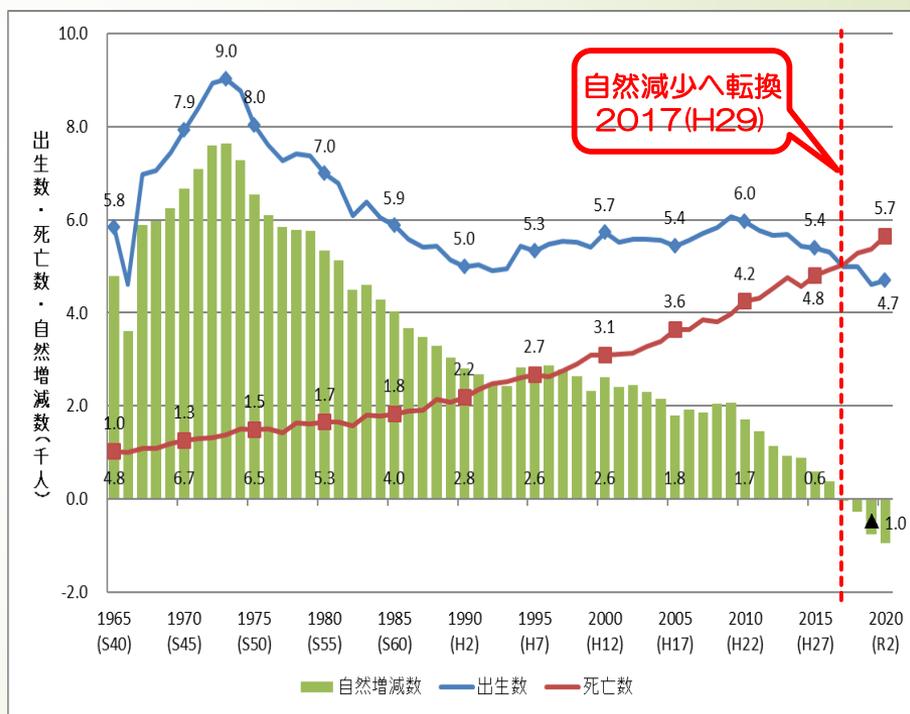
# 1 これまでの人口動態(社会増加と自然減少)

- 本市の社会動態(転入者数－転出者数)は、転入者数が転出者数を上回る社会増加(転入超過)となっている。(図表4)
- 本市の自然動態(出生数－死亡数)は、死亡数の増加傾向が続く一方、出生数は減少傾向にあり、平成29(2017)年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少となっている。(図表5)

図表4 転入数・転出数・転入超過数の推移



図表5 出生数・死亡数・自然増減数の推移



# 1 これまでの人口動態(新型コロナウイルス感染症の影響)

- 本市と東京都との間の令和2(2020)年の移動は、前年比で転入数の増加(+489人)と、転出数の減少(▲290人)により、大幅な転入超過(+779人)となった。一方で、本市と県内他自治体で比較すると、転入数に大きな差はないものの、転出数は大幅に増加(▲790人)した。(図表6)

図表6 船橋市と各地域の間の転出入数推移

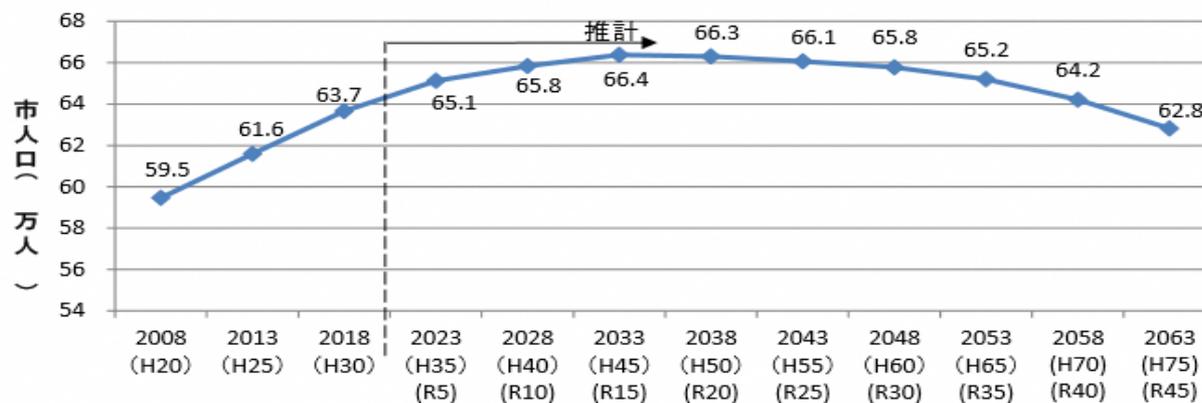


船橋市転出入		2017	2018	2019	2020	2019-2020	
						増減数	増減率
東京都	転入	6,752	6,864	6,821	7,310	489	7.2%
	転出	6,872	7,033	6,813	6,523	-290	-4.3%
	社会増減	-120	-169	8	787	779	
千葉県内 他自治体	転入	12,122	12,126	12,481	12,431	-50	-0.4%
	転出	11,338	11,482	11,383	12,173	790	6.9%
	社会増減	784	644	1,098	258	-840	
その他 道府県	転入	12,619	12,632	12,582	11,707	-875	-7.0%
	転出	10,483	10,221	10,745	10,401	-344	-3.2%
	社会増減	2,136	2,411	1,837	1,306	-531	
全体	転入	35,286	35,305	35,482	34,180	-1,302	-3.7%
	転出	30,667	30,947	31,381	31,201	-180	-0.6%
	社会増減	4,619	4,358	4,101	2,979	-1,122	

## 2 将来人口推計(総人口・年齢3区分別)

- 本市の人口は、2033年まで緩やかに増加を続け、66.4万人をピークに以降は減少し、2043年には66.1万人、2063年には62.8万人となる見込みである。(図表7)
- 年齢3区分別の人口推計を見ると、年少人口(15歳未満)は減少が続く一方で、生産年齢人口(15～64歳)は2028年まで緩やかに増加を続けると見込まれる。また、老年人口(65歳以上)は2053年まで増加を続け、高齢化率は33.1%となる見込みである。(図表8)

図表7 総人口の将来推計



図表8 年齢3区分別人口の将来推計

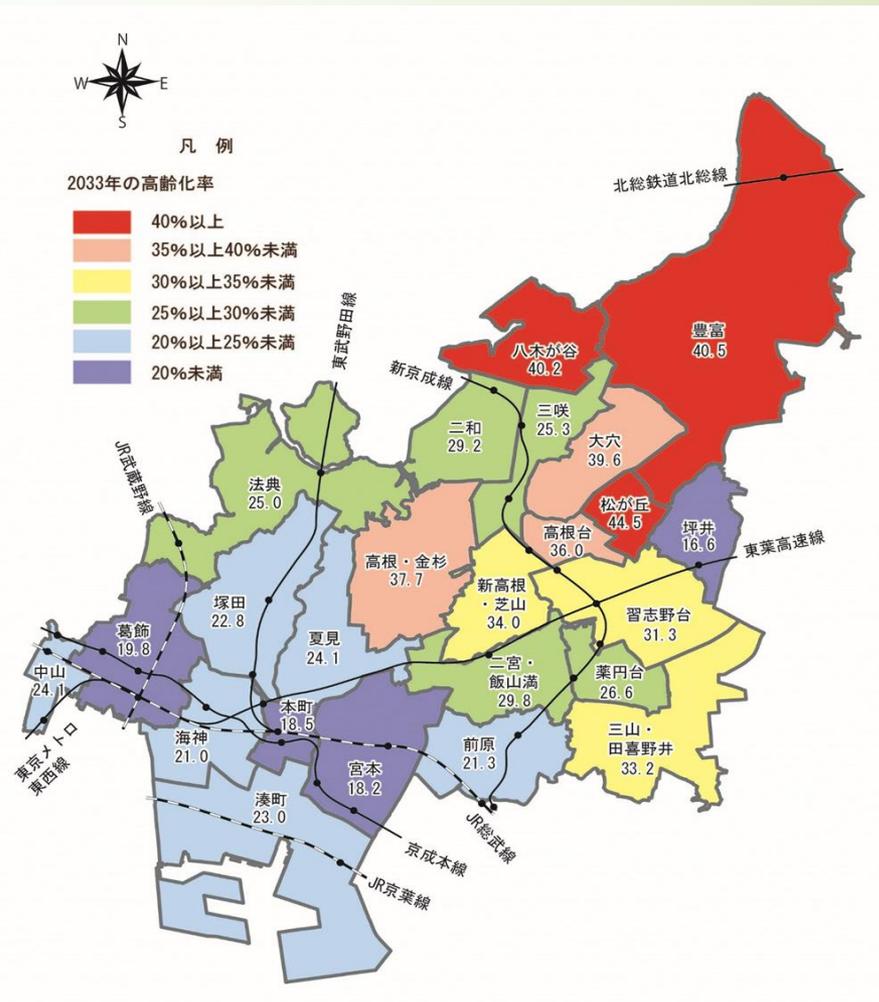
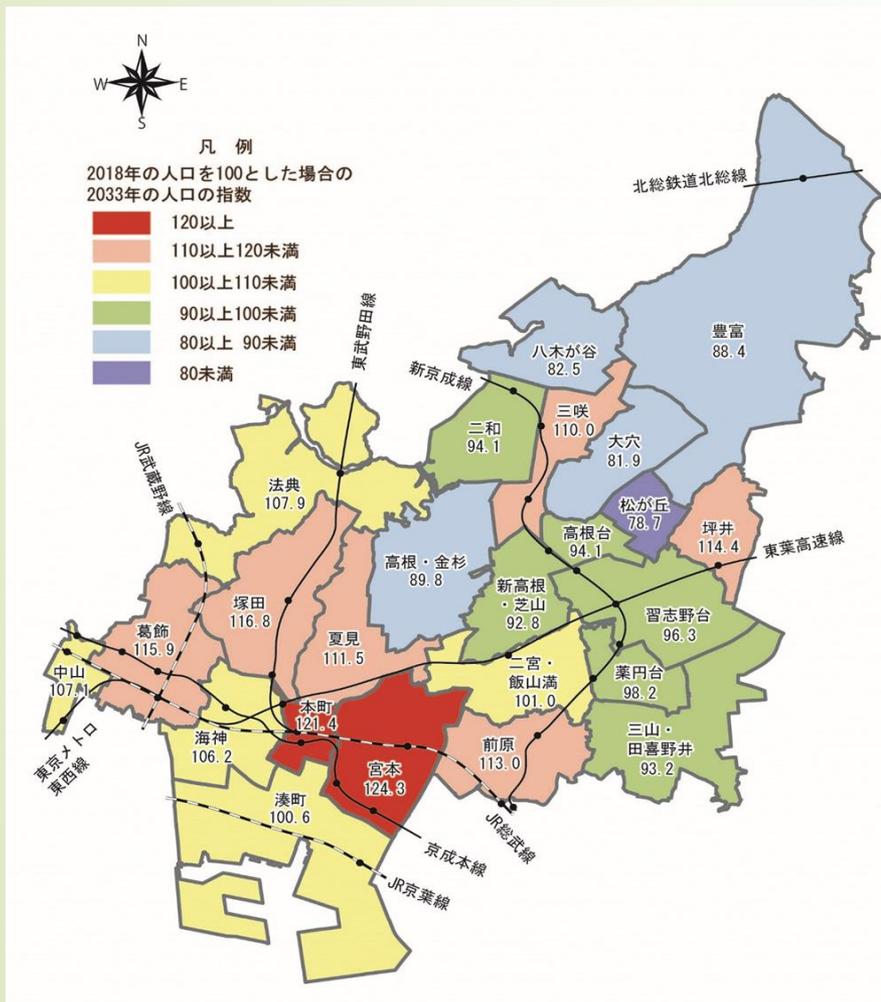


## 2 将来人口推計(24地区別推計)

- 総人口がピークを迎える2033年の人口推計を24地区別見ると、北部・東部・中部の多くの地区で人口の減少が見込まれるとともに、更に高齢化が進む見込みである。一方、南部・西部では全ての地区で人口が増加し、高齢化率も北部・東部・中部と比べると低くなる見込みである。(図表9・10)

図表9 24地区別の人口増減の推計(2018年→2033年)

図表10 24地区別の高齢化率の推計(2033年)

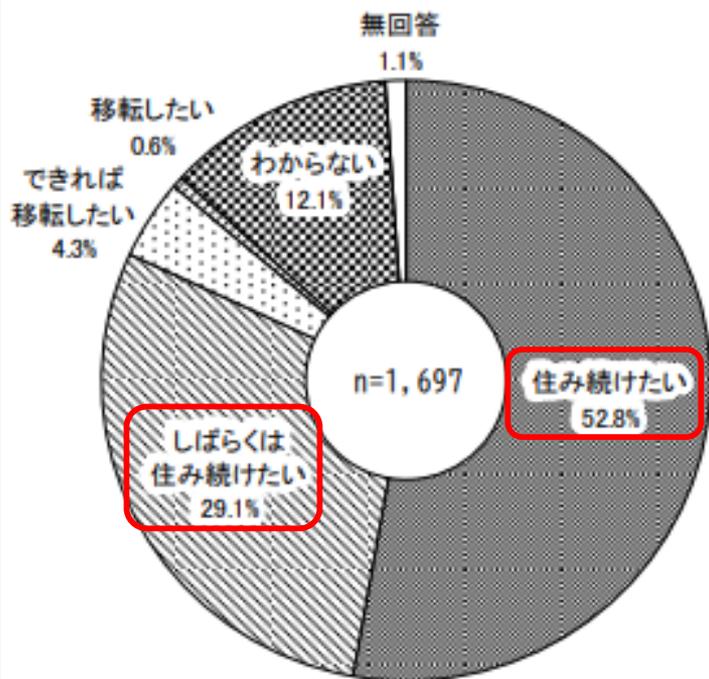


### 3 市民の定住意向

- 令和2年度市民意識調査及び令和元年度高齢者生活実態調査の結果によると、住み続けたいと回答した割合がともに8割を超えており、本市への定住意向の高さがうかがえる。(図表11・12)

図表11 船橋市への定住意向

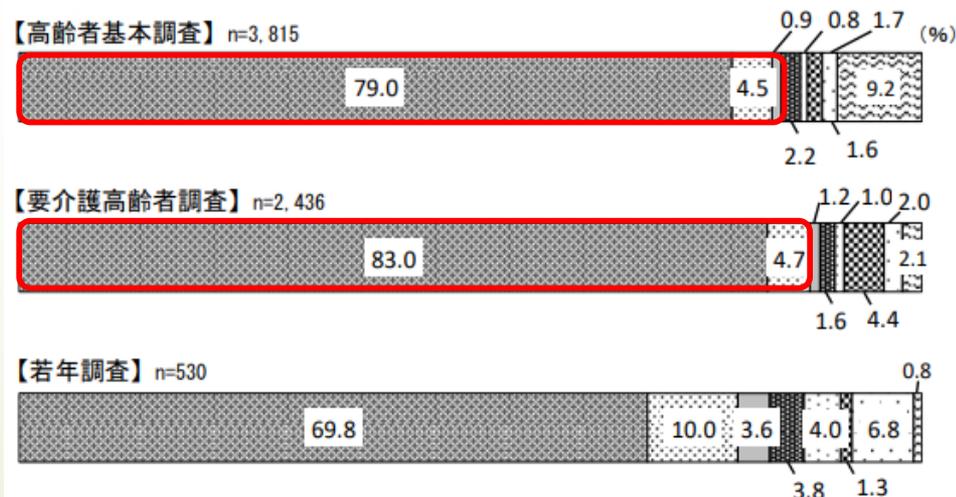
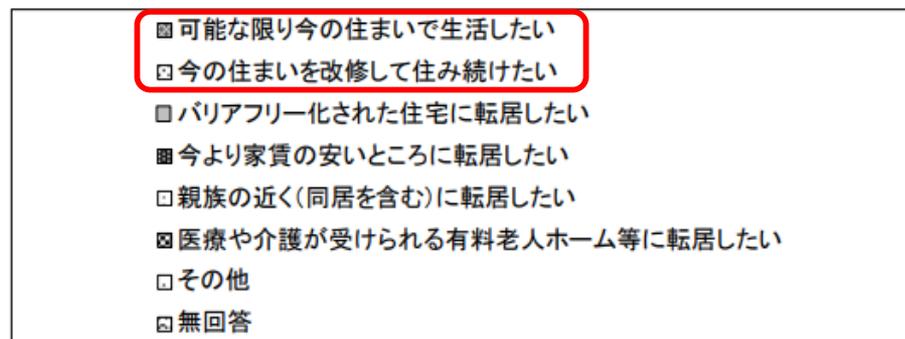
◇「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた割合は、8割を超えている



出典：令和2年度市民意識調査報告書

図表12 高齢者の現在の住まいに対する今後の居住意向

問3 (3) / (5) あなたは、今後もずっと今のお住まいで生活していきたいと思いませんか (〇は1つ)



出典：令和元年度高齢者生活実態調査報告書

## 4 人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向

- 人口ビジョンでは、人口動態の現状分析等の結果を踏まえ、人口に関する4つの「目指すべき将来の方向」を定めている。
- 人口動態に係る分析の結果は、第1期総合戦略策定時の人口動態と比較し、数値の差異はあるものの概ね同様であることから、第2期総合戦略の計画期間においては、人口ビジョンの4つの目指すべき将来の方向を維持する。

### 人口動態に係る分析の結果

○総人口は増加傾向を維持しているが、年齢3区分別で見ると少子高齢化が進行。

○現状の人口増加も将来的には人口減少へ転換。北部・東部・中部での人口減少、高齢化が大きく進行する見込み。

○転入超過による社会増加の傾向は維持しているが、死亡数が出生数を上回る自然減少の傾向へ転換。

○市民の高い定住意向。

○新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年は東京からの人口流入、県内他自治体への人口流出が前年より増加。

### 目指すべき将来の方向

○市民の定住希望をかなえる

○高齢者の住み慣れた地域で、健やかに安心して暮らす希望をかなえる

○市民の結婚・出産・子育てに関する希望をかなえる

○職・住・遊の目的地として選ばれ、人が集まり活気のあるまちを目指す

